



一 般 質 問

障がい者対策について



しいな としお
椎名 利夫
議 員

質問 知的障がいや発達障がいを持つ 0 歳から 6 歳までの子どもは何人くらいいるのか。村はどのようなサポートを行っているのか。さらに、心身障がいや発達障がい者向けの児童デイサービス施設が必要と思われるがどのようにお考えか。

答弁 (保健福祉部長) 0 歳から 6 歳までの療育手帳の交付者は 6 人おり、通所支援受給者は 18 人。具体的なサポートの状況は、重度の障がいがある場合、保健師または福祉介護課担当職員が面談を行

い、支援が始まる。軽度または中度の場合は、乳幼児健診での保健指導または発達相談から支援が始まる。重度の障がい児については個別に療育施設の相談を行い、保育所の入所または幼稚園の入園を希望する場合は、介助員や保育士の加配を実施し対応している。村立のデイサービス施設の建設や設置の予定はない。

高齢者の健康増進対策について

質問 美浦村においても 65 歳以上の高齢者が 25・8%となり、ますます高齢化が進むと思われる。健康寿命をいかに延ばしていくかが重要だと思うがお考えは。

答弁 (教育次長) 健康増進に関しては講師を招き、身近

なところで学習をすることが必要だと考える。美浦村中央公民館では、出前講座を行っている。受講可能な方は、10 人以上で構成された団体グループ等で、会場の手配や催しの進行は受講を申し込まれた主催者側となる。

質問 今の方式は、依頼するのに難しい点がある。地区リーダーを引き受け、引っ張る人がいない。そこで、健康寿命対策室を立ち上げ、健康教室等を開くような形にできないか検討してほしい。

学力向上対策について

質問 全国学力調査の結果をどうお考えか。また、さらなる学力向上には、補習授業の取り入れも必要なのでは。

答弁 (教育長) 美浦村の児童生徒の学力は確実に上がった

ている。小学校 3 校は、全国平均に匹敵するような状態になっている。1 校は全国平均も茨城県平均も上回る結果を出している。中学校については、全国平均に相当近づいてきているが上回るまでは行っていない。原因は、家庭での学習がまだ習慣化できていないと考えられる。補習授業については、教育委員会で相談した結果、その態勢ができていないということで土曜授業も見送っている。補習授業を行うためにも、早い時期に学校支援地域本部を立ち上げたいと思っている。

